

2022年3月期 第2四半期決算説明資料

2021年11月5日

株式会社エフテック

東証1部:7212

<https://www.ftech.co.jp>



1 決算概要

2 業績予想

3 経営戦略

4 トピックス



1 決算概要

2 業績予想

3 経営戦略

4 トピックス

連結予算概要(前年同期比)

(単位:百万円)

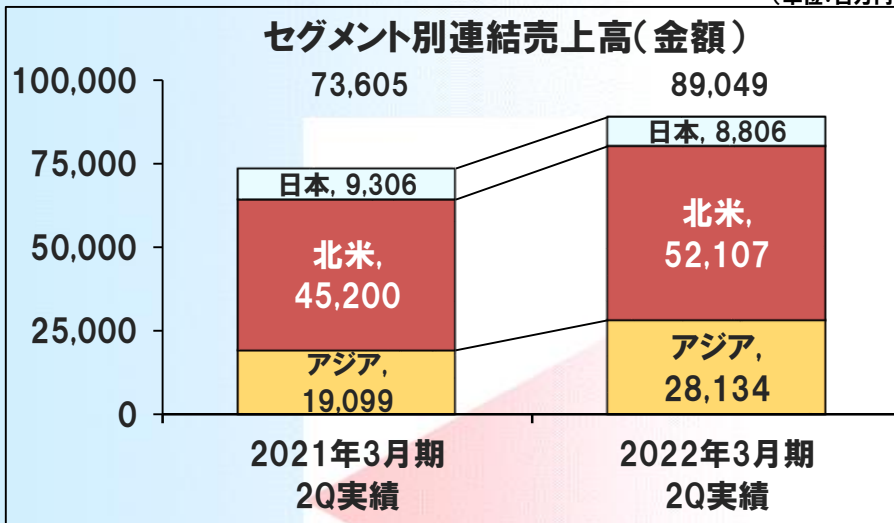
	2021年3月期 2Q実績		2022年3月期 2Q実績		増減	
売上高	73,605	100.0%	89,049	100.0%	15,443	21.0%
営業利益	▲1,665	▲2.3%	▲1,424	▲1.6%	241	-
経常利益	▲2,296	▲3.1%	▲1,627	▲1.8%	669	-
親会社株主に帰属する当期 純利益	▲3,345	▲4.5%	▲2,340	▲2.6%	1,005	-
1株利益(円)	▲179.38	—	▲125.94	-	53.44	-

	2021年3月期	2022年3月期	増減額
1US\$	106.32円	110.10円	3.78円
1CAN\$	78.53円	88.59円	10.06円
1人民元	15.32円	16.76円	1.44円

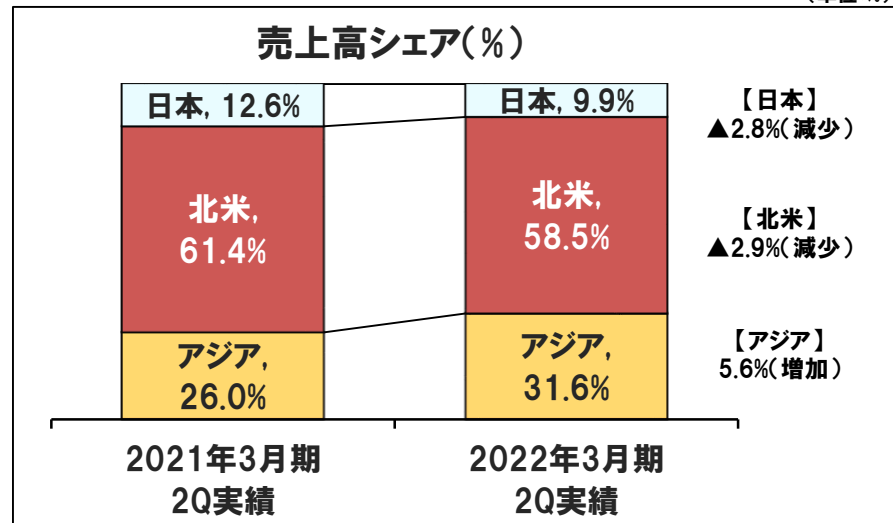
増収増益{前年同期はコロナ影響(ロックダウン等)あり低調。今期も未だ本来の売上には戻らず苦戦}

連結売上高(前年同期比)

(単位:百万円)



(単位:%)



連結売上高増減

	'21年3月期2Q	'22年3月期2Q	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	9,306	8,806	▲499	▲5.4%	-	▲499	▲5.4%
北米	45,200	52,107	6,907	15.3%	3,466	3,442	7.6%
アジア	19,099	28,134	9,035	47.3%	2,109	6,927	36.3%
連結	73,605	89,049	15,433	21.0%	5,575	9,869	13.4%

増収要因: 1Q北米、アジアの売上増、2Q単独では減収、2Qから半導体不足影響深刻化

セグメント別営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

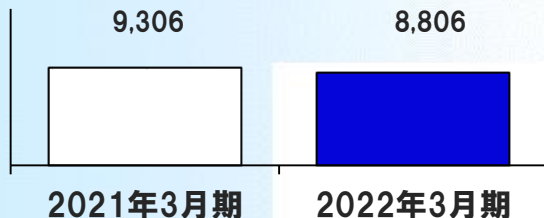
	金額			
	2021年 3月期 2Q実績	2022年 3月期 2Q実績	増減	増減率
日本	▲1,184	▲152	1,032	▲87.1%
北米	▲1,315	▲2,148	▲833	63.3%
アジア	723	1,020	297	41.1%
合計	▲1,776	▲1,280	496	▲27.9%
調整	111	▲143	▲254	▲229.4%
連結	▲1,665	▲1,424	241	▲14.5%

(単位:%)

シェア		
2021年 3月期 実績	2022年 3月期 実績	増減
71.1%	10.7%	▲60.4%
79.0%	150.9%	71.9%
▲43.4%	▲71.6%	▲28.2%
106.7%	89.9%	▲16.8%
▲6.7%	10.1%	16.8%
100.0%	100.0%	-

セグメント別連結業績(日本)

売上高

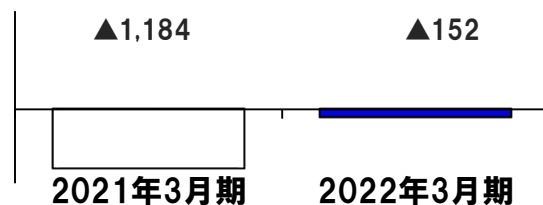


増減額	▲499
増減率	▲5.4%
為替影響	-
実質増減	▲499
増減率	▲5.4%

増減理由		
1	主要得意先からの受注減少	▲743
2	商品売上増加(Gr向け金型設備売上)	1,538
3	技術収入売上(ロイヤリティ、開発費、他)増加	435
4	国内子会社売上増加	1,313
5	内部売上控除増加(Gr会社向け売上増加影響)	▲3,043
合計		▲499

営業利益

(単位:百万円)



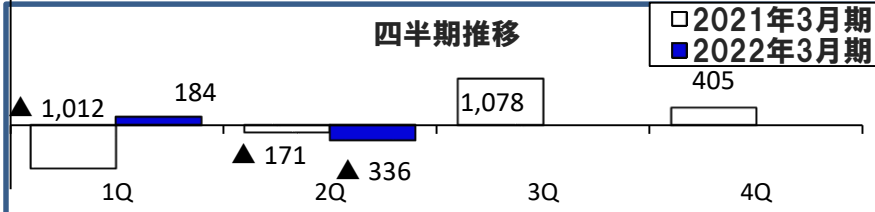
増減額	1,032
増減率	▲87.1%
為替影響	-
実質増減	1,032
増減率	▲87.1%

増減理由		
1	製品売上減少影響	▲480
2	経費減(労務・償却・その他原価、販管費)	605
3	商品売上・技術収入売上増加影響	639
4	子会社売上増加影響	268
5		
合計		1,032

四半期推移



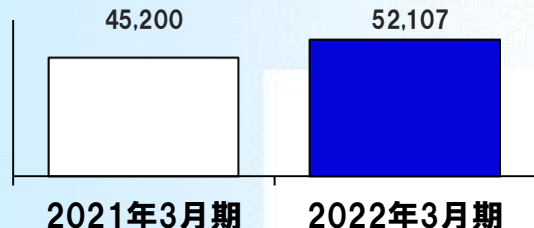
四半期推移



主要得意先への売上は減少も経費削減効果、商品売上増加により増益

セグメント別連結業績(北米)

売上高



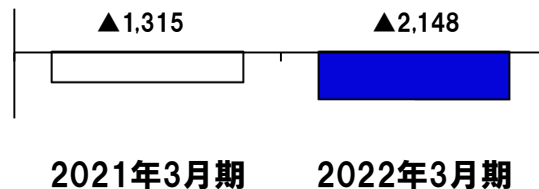
増減額	6,907
増減率	15.3%
為替影響	3,466
実質増減	3,442
増減率	7.6%

2022年3月期

増減理由		
1	主要得意先の受注増減(HM、GMの受注減少)	▲685
2	主要得意先の受注増減(トヨタ、Te社、S社の受注増加)	2,867
3	その他の得意先向け売上の変化、他	1,259
4	為替換算影響	3,466
		6,907

営業利益

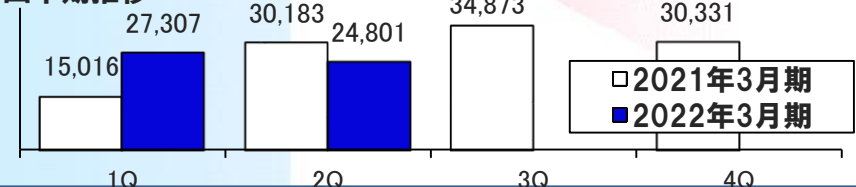
(単位:百万円)



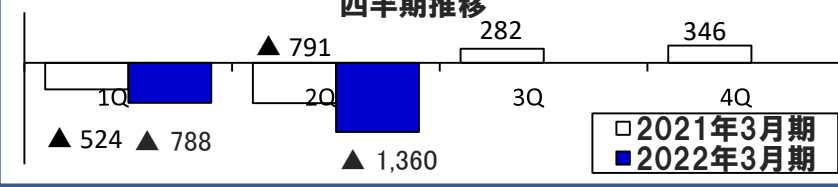
増減額	▲833
増減率	-
為替影響	▲132
実質増減	▲701
増減率	-

増減理由		
1	(前期)コロナ影響による固定費特損振替・助成金収入	▲273
2	得意先の減産により固定費賄えず	▲428
3	為替換算影響	▲132
合計		▲833

四半期推移



四半期推移



前期比増収も対計画比では大幅減、半導体不足による生産減により固定費を賄えず収益悪化

セグメント別連結業績(アジア)

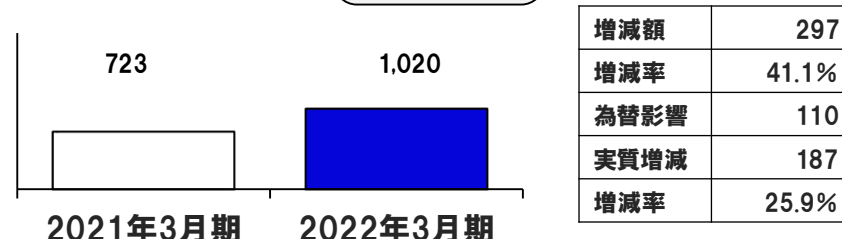
売上高



増減理由		
1	(HM) 中国地域の売上増加	4,943
2	(その他得意先) 中国地域の売上増加	220
3	(HM) ア大地域の売上増加	836
4	(その他得意先) ア大地域の売上増加	928
5	為替換算影響	2,109
合計		9,035

営業利益

(単位:百万円)

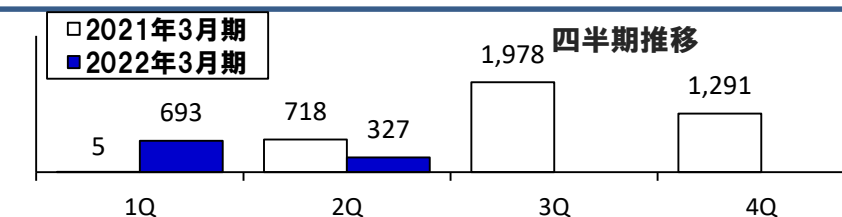


増減理由		
1	(前期)コロナ影響による固定費特損振替	▲714
2	中国地域の売上増加影響	528
3	ア大地域の売上増加影響	373
4	為替換算影響	110
合計		297

四半期推移

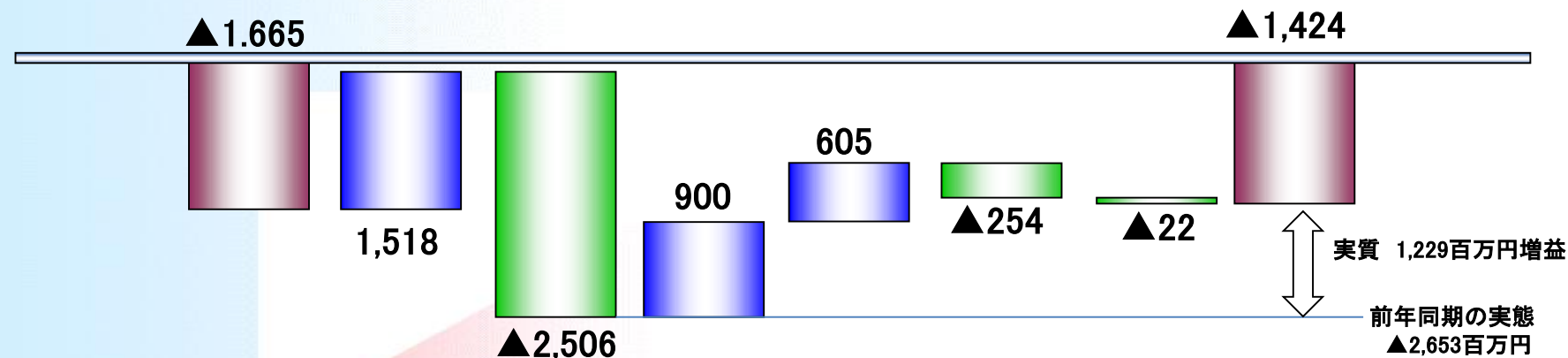


四半期推移

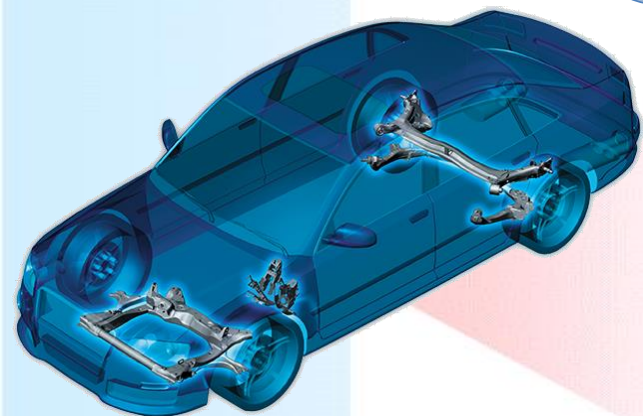


1Qは例年並みの売上に戻るも、2Qは弱含み、売上・利益ともに伸びず

セグメント別営業利益(2022年3月期実績)



	2021年 3月期	前期 特別利益	コロナ 特損振替	製品売上 影響	経費 削減	連結調整	為替影響	2022年 3月期	増減
日本	▲1,184	100	▲100	427	605			▲152	1,032
北米	▲1,315	1418	▲1,692	▲428			▲132	▲2,148	▲833
アジア	723		▲714	901			110	1,020	297
調整	111					▲254		▲143	▲254
連結	▲1,665	1,518	▲2,506	900	605	▲254	▲22	▲1,424	241



1

決算概要

2

業績予想

3

経営戦略

4

トピックス

連結予算概要(前回予想比)

(単位:百万円)

	2022年3月期 前回予想		2022年3月期 今回予想		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	220,000	100.0%	195,000	100.0%	▲25,000	▲11.4%
営業利益	4,500	2.0%	1,300	0.7%	▲3,200	▲71.1%
経常利益	3,700	1.7%	800	0.4%	▲2,900	▲78.4%
親会社株主に帰属する当期 純利益	1,000	0.5%	▲900	▲0.5%	▲1,900	▲190.0%
1株利益(円)	53.81	—	▲48.42	—	▲102.23	▲190.0%

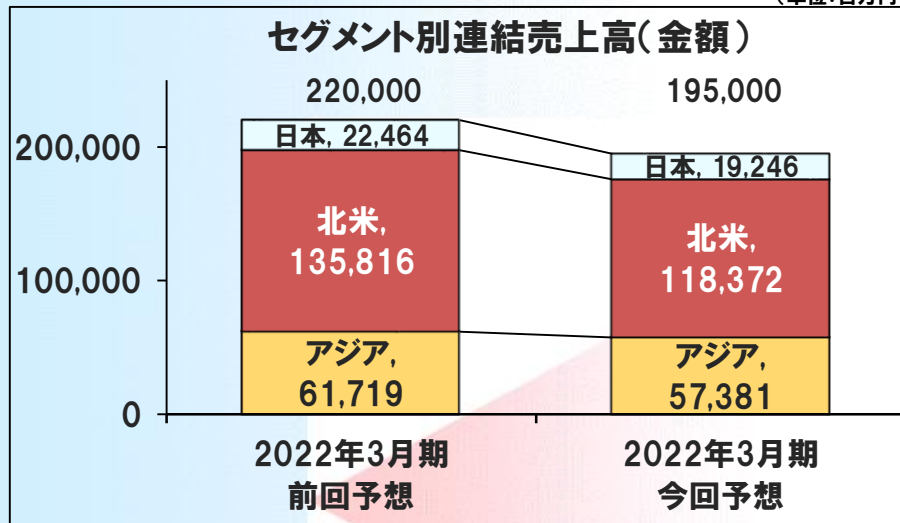
為替

	前回予想	今回予想	増減額
1US\$	106.19円	108.55円	2.36円
1CAN\$	88.01円	86.30円	▲1.71円
1人民元	16.53円	16.73円	0.20円

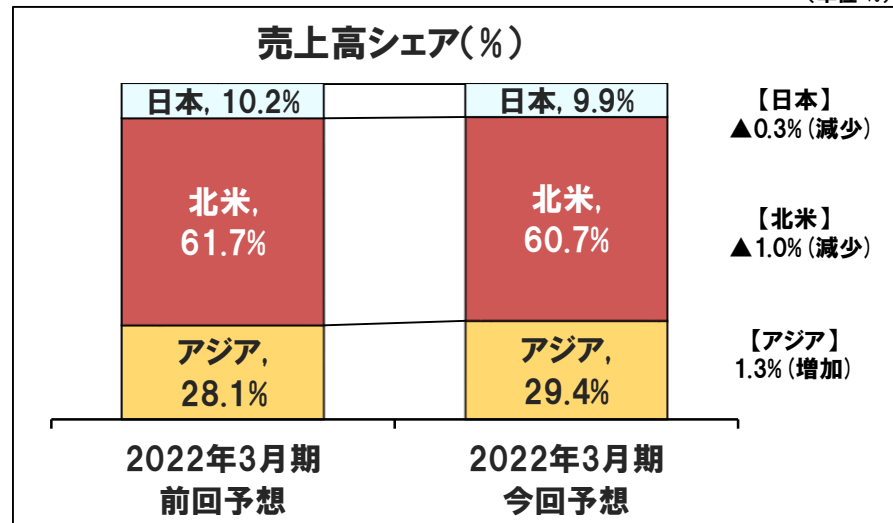
全セグメントにおける得意先の生産変動(減少)、売上減少により収益が大きく悪化

連結売上高(前回予想比)

(単位:百万円)



(単位:%)



連結売上高増減

	前回予想	今回予想	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	22,464	19,246	▲3,218	▲14.3%	—	▲3,218	▲14.3%
北米	135,816	118,372	▲17,444	▲12.8%	161	▲17,606	▲13.0%
アジア	61,719	57,381	▲4,337	▲7.0%	589	▲4,926	▲8.0%
連結	220,000	195,000	▲25,000	▲11.4%	750	▲25,750	▲11.7%

全セグメントで減収(為替影響を除けば前期実績並み)

セグメント別営業利益(前年同期比)

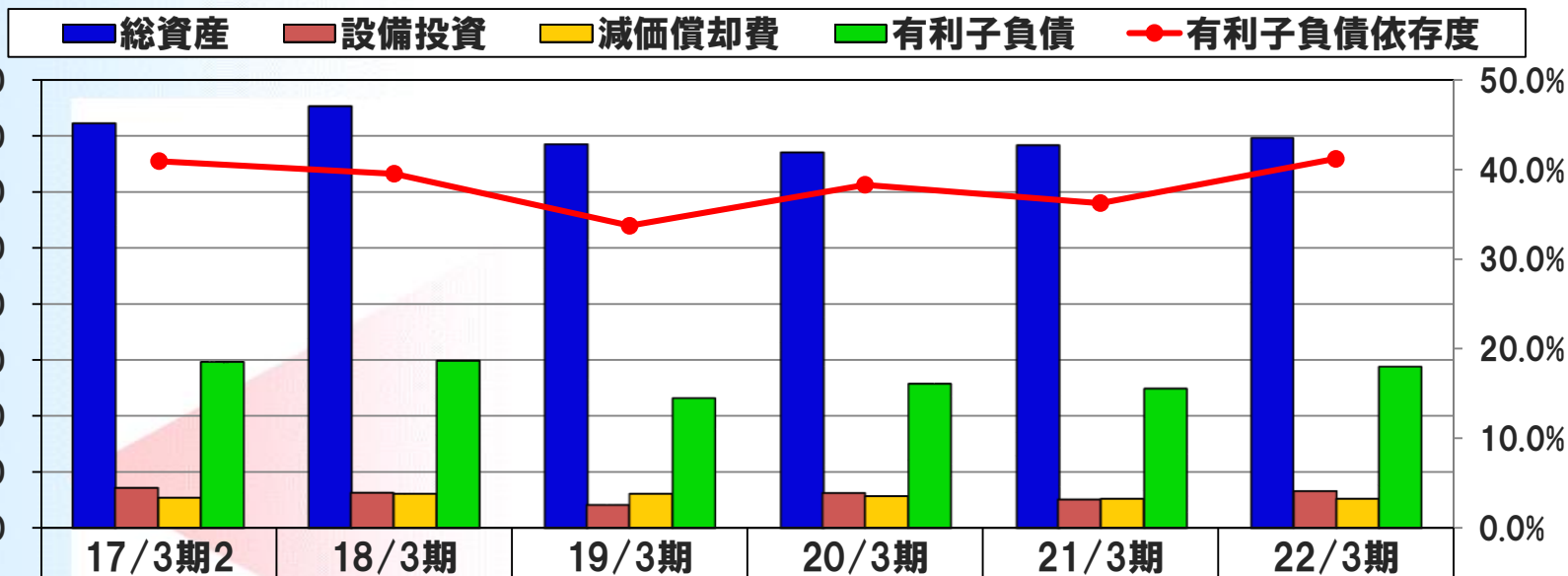
(単位:百万円)

	金額			
	2022年 3月期 前回予想	2022年 3月期 今回予想	増減	増減率
日本	1,962	1,001	▲960	▲49.0
北米	▲489	▲2,079	▲1,589	—
アジア	3,816	2,996	▲820	▲21.5
合計	5,289	1,917	▲3,371	▲30.0
調整	▲789	▲617	171	—
連結	4,500	1,300	▲3,200	▲71.1

(単位:%)

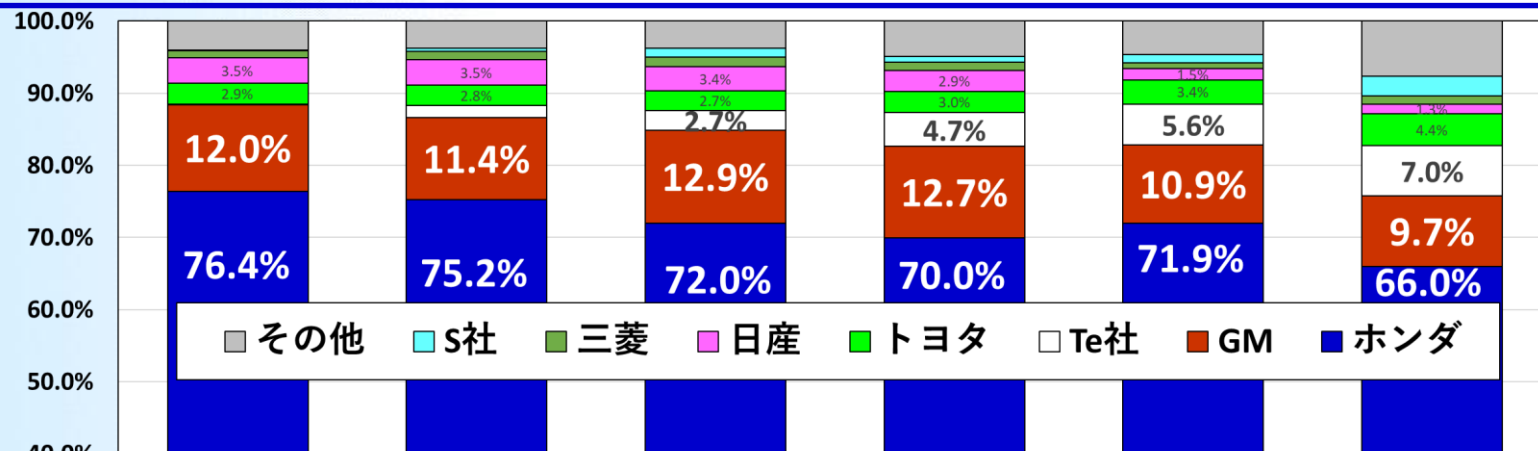
シェア		
2022年 3月期 前回予想	2022年 3月期 今回予想	増減
43.6%	77.1%	33.4%
▲10.9%	▲160.0%	▲149.1%
84.8%	230.5%	145.6%
117.5%	147.5%	30.0%
▲17.5%	▲47.5%	▲30.0%
100.0%	100.0%	—

(単位:百万円)



	17/3期2	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
総資産	144,420	150,525	137,010	134,038	136,714	139,316
設備投資	14,094	12,435	8,056	12,238	10,010	12,977
減価償却費	10,335	11,666	11,720	10,890	10,032	10,037
有利子負債	59,129	59,510	46,220	51,342	49,565	57,400
有利子負債依存度	40.9%	39.5%	33.7%	38.3%	36.3%	41.2%

得意先別売上高の推移



	'17年3期	'18年3期	'19年3期	'20年3期	'21年3期	'22年3期
ホンダ	151,282	170,089	169,512	153,004	132,123	128,729
GM	23,683	25,782	30,258	27,719	20,051	18,973
Te社	247	3,661	6,443	10,211	10,374	13,680
トヨタ	5,658	6,428	6,300	6,471	6,178	8,558
日産	6,985	7,957	7,977	6,275	2,825	2,595
三菱	2,036	2,648	3,051	2,597	1,541	2,256
S社	71	1,010	2,913	1,686	2,066	5,255
その他	7,979	8,485	8,907	10,749	8,488	14,954
	197,941	226,060	235,361	218,712	183,647	195,000

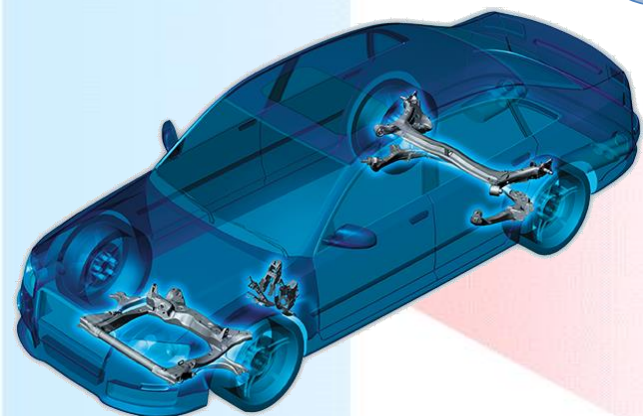
	1Q末	2Q末	3Q末	期末	合計	配当性向
2021年3月期配当実績	—	0円00銭	—	8円00銭	8円00銭	—
2022年3月期配当予想(前回)	—	8円00銭	—	10円00銭	18円00銭	33.5%

2022年3月期配当予想(今回)	—	0円00銭	—	10円00銭	10円00銭	—
2021年3月期 実績差異		—		2円00銭	2円00銭	—
前回配当予想 差異	—	▲8円00銭		0円00銭	▲8円00銭	—

※2022年3月期の中間配当は連結業績予想の下方修正に伴い無配とさせていただきます

配当方針

当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。
財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。



1 決算概要

2 業績予想

3 経営戦略

4 トピックス

第14次中期経営計画

全社方針： 限界突破！世界中のお客様にこだわりのBest Oneを

66期 (FY2020)

67期 (FY2021)

68期 (FY2022)

Back to Basics

～こだわりを極め～

◇全拠点の
黒字化

◇シミュレーション
の進化

◇国内の再生

Challenge for New

～新たな価値創造へ挑戦～

◇新たな柱となる
顧客を確立

◇新たな地域
への挑戦

◇新たなビジネス
の創出

グループ効率の
最大化を図る

目標

- 【生産性】
・要員効率向上
- 【効率性】
・自動検査装置
- 【収益性】
・廃却仕損費削減
・FCF黒字化

Our Vision： 足廻り機能領域の専門メーカーとして世界No.1を目指す

第14次中期3ヵ年経営計画

		2020年度	2021年度	2022年度
当初計画	売上高	2,160億円	2,220億円	2,150億円
	営業利益	50億円	70億円	75億円
	営業利益率	2.3%	3.2%	3.5%
コロナ影響後	売上高	1,836億円	1,950億円	-
	営業利益	30.7億円	13億円	-
	営業利益率	1.7%	0.7%	-

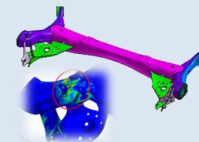
東南アジア地域のロックダウンに起因するサプライチェーンの寸断により
各自動車メーカーの生産調整の影響を受け大幅減収減益見込み

エフテックが磨き上げてきた技術・ノウハウ

設計

最適化設計

- ・最適仕様で軽量化提案
- ・圧倒的な競争力の実現



解析

強度/衝突/NV性能

- ・最適部位/要素抽出
- ・性能向上対応

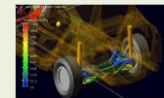
※NV: Noise Vibration

期間短縮
コスト削減

- ・各コンポーネントの製品影響把握
- ・ベストバランス部品開発

解析

操安性能



試作レス開発体制(設計・解析で完結)

高度な解析力を備え、OEMニーズへ対応

OEMのニーズ

開発期間短縮

コスト削減

EV化

軽量化

耐久性

高品質

高性能

CPE : サイバー・フィジカル・エンジニアリング

ものづくりにおける企画・設計・試作・認証・生産等、
全体をサイバー空間で迅速かつ効率的に支援する技術

クルマ1台分のCAEデータの取得

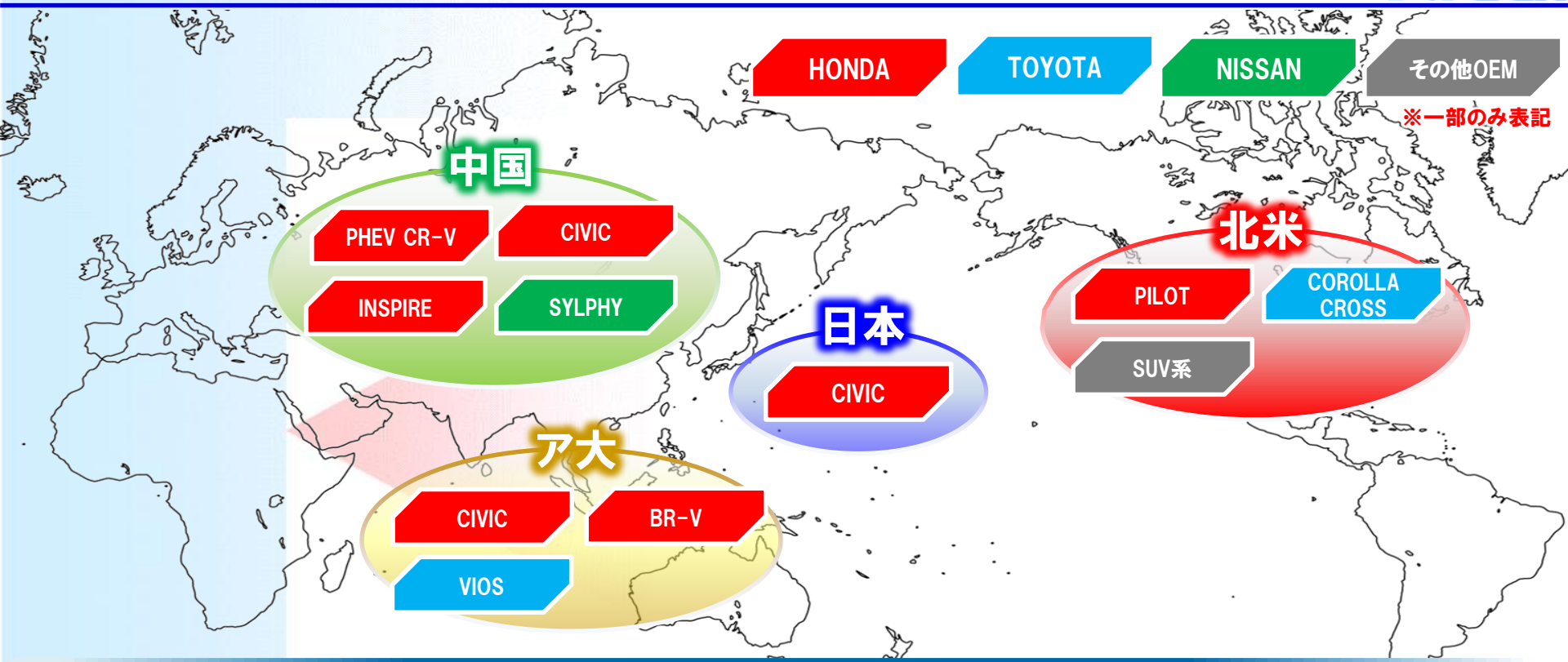
- デジタル技術のノウハウ習得
- モノづくりのDX化への対応
- ノウハウを活かした次世代自動車部品の開発



デジタルデータ～CAE解析の更なる進化

※ CPE技術研究組合
(2021年9月設立)

CPE技術研究組合へ参加し、開発力の更なる向上を目指す



各地域で多くの新機種を安定立上げ



● シャーシ製品の量産開始に向け
最終準備中

2021年4月
製造・品質のエキスパート
2名駐在開始



VeeGee と技術
援助契約締結
SMGにペダル供給開始

グジャラートでJV
企業を設立
SMGに製品供給
開始

2020 - 2021

2014-2017

SMG: Suzuki Motor Gujarat

高効率、高品質の
シャーシ製品を生
産⇒SMGに供給
(40万台/年)

2023

能力拡充完了
SMGへの供給拡
新規得

2025

営業活動
とR&D

2028

潜在成長力ある
インドへの挑戦

R&Dから量産ま
的
ユ
美

インドから新規市
場の開拓

2030

インドビジネスをパートナーと着実に展開



F&P MFG DE MEXICO, S.A. DE C.V.



2012年



2016年

拡張エリア



現在拡張工事中
(9,792m²)

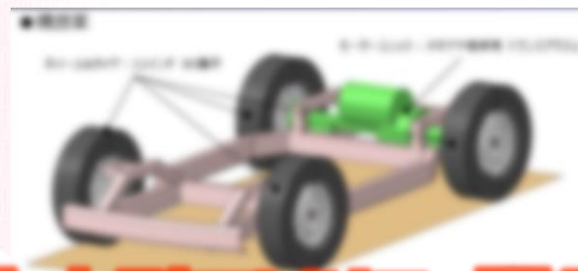
完了後の工場総面積
(42,409m²)

米国先進EVメーカーよりシャーシ部品新規受注決定

投資目的	生産能力拡充
投資時期	2021年～2022年
工事予定	2021年 8月 建屋拡張工事着工 2022年 4月 塗装設備導入 2022年12月 稼働開始 ※プレス能力の拡充を計画中

- EV化をチャンスと捉え、新たな成長へ
- EV向け部品供給能力拡大

加速するOEMのEVシフトへ対応し生産体制を強化中



次世代型 小型モビリティ開発へ参画

新たなモビリティ社会・スマートシティ化の実現に向け活動中

東京証券取引所の一次判定結果

基準項目	プライム上場 維持基準	判定
株主数	800人	○
流通株式数	2万単位	○
流通株式時価総額	100億円	未達成(91億円)
売買代金売買高	0.2億円/日平均	○
流通株式比率	35%	○

流通株式時価総額向上施策の方向性

- 中期経営計画推進による業績向上と経営指標向上
 - ・EV市場、成長地域への積極対応
- ガバナンス強化とCSRへの取り組み
- 株式施策による流通株式比率向上
- IR・広報活動の積極展開
 - ・株主、投資家との対話の充実等

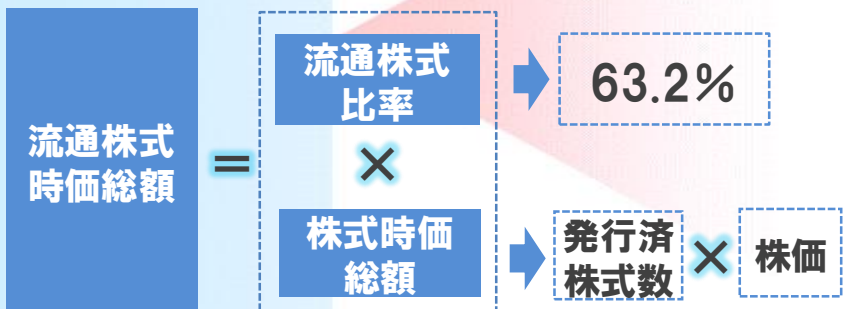
EVビジネスの販路拡大をテコに流通時価総額基準クリアを目指す

【参考】発行済株式総数・期末株価・流通株式時価総額の推移

東京証券取引所による一次判定数値

項目	数値
発行済株式数	18,712千株
流通株式数	11,843千株
流通株式比率	63.2%

流通株式時価総額の計算

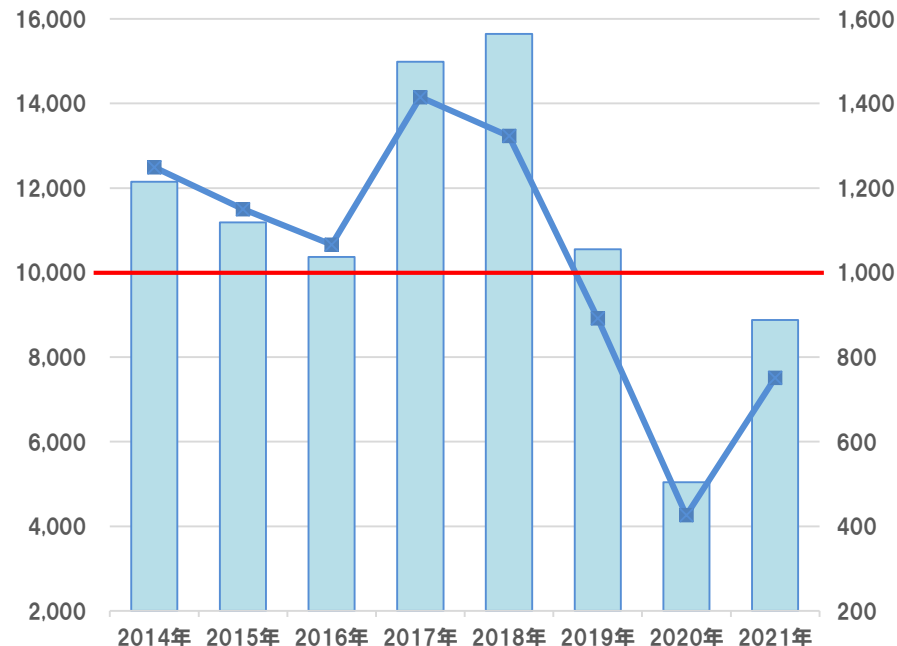


年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
株式数	15,390	15,390	15,390	16,760	18,712	18,712	18,712	18,712

株価と流通株式時価総額

流通株式時価総額
(百万円)

期末株価
(円)



※東京証券取引所による一次判定数値を使用

コーポレートガバナンス・コードの改訂

原則

78原則 +5原則 → 83原則 (改訂16原則)

現在、ガバナンス報告書、ガイドラインにて対応中 Explain項目は、4-10①のみ

追加・変更された4開示項目

補原2-4①	中核人材の多様性確保
補原3-1③	サステナビリティの取組み
補原4-10① (現状Ex)	任意の仕組みの活用 (指名、報酬等委員会の検討)
補原4-11①	取締役会の構成についての考え方

当社の対応

- ・中核人材の多様性・人財育成方針・社内環境整備方針の策定
- ・CSR委員会を通じたサステナビリティの取組み強化
- ・役員指名・報酬委員会設置に向けて準備中
- ・取締役会の多様性を確保

全項目コンプライアンスを目指す

※「Ex」=Explain ※青字はプライム市場適用コード

企業価値向上に向けガバナンス体制の拡充推進中

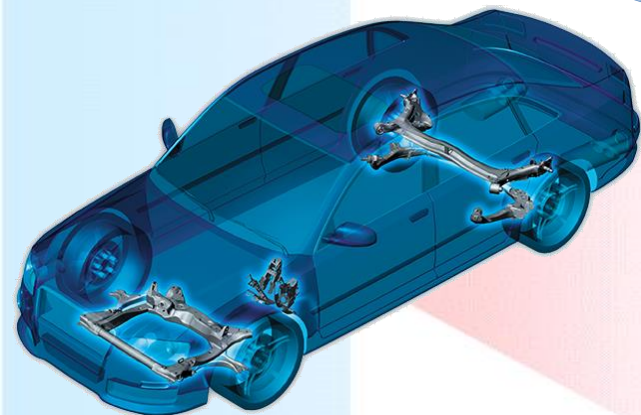
対応事項

主な取り組み

環境	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出削減 ・大気・水・土壌等の環境保全 ・省資源・水や廃棄物削減 ・化学物質管理 ・環境に配慮した製品開発 ・気候変動問題への対処 ・自然資本・生物多様性の保全 	<p>【新2030年 グローバル環境目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2 排出原単位 : ▲ 18%改善 ・水資源使用原単位 : ▲ 14%改善 ・廃棄物排出原単位 : ▲ 13%改善 (基準年:2017年度 指標:売上高) ・TCFDを踏まえた枠組み等を意識した開示の質と量の充実
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境づくり ・品質への取り組み ・株主、投資家、社会との係わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ、Work-life Balanceの取組 ・製品毎に品質に関する総合評価を実施 ・IR活動、適時適切な開示等の展開
統治 企業	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートガバナンスの進化 ・CSR活動のグローバル展開 ・リスク管理のグローバル展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・CGコード対応によるCGの整備・運用強化 ・CSR行動指針のグローバル浸透、展開 ・BCPのレベルアップ継続、ITセキュリティ強化



優先課題を特定しグループ全体で推進強化



1

決算概要

2

業績予想

3

経営戦略

4

トピックス

品質への取り組み

※2021年度上期(4~9月)受賞実績

品質優良賞 受賞

F&P MFG DE MÉXICO, S.A. DE C.V.

F&P MFG DE MEXICO SA DE CV
812634044

For your outstanding 2020 performance to
General Motors.

Thank You

2年連続受賞

◆General Motors 様より受賞

品質優良賞 受賞

F&P AMERICA MFG. INC.
F & P AMERICA MANUFACTURING INC

825761314

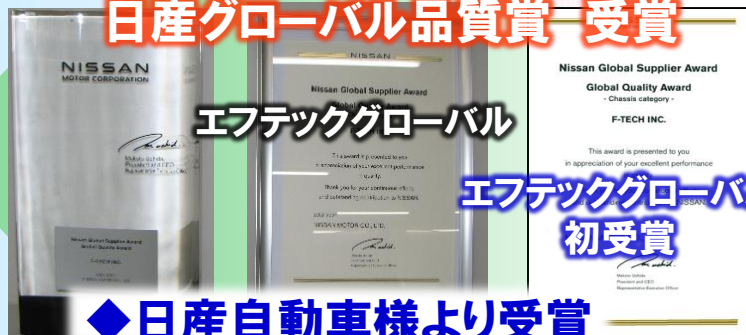
For your outstanding 2020 performance to
General Motors.

Thank You

**F&P America
初受賞**

◆General Motors 様より受賞

日産グローバル品質賞 受賞



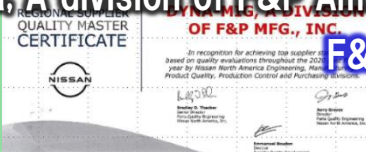
エフテックグローバル

**エフテックグローバル
初受賞**

◆日産自動車様より受賞

日産サプライヤー品質賞 受賞

F&P Georgia, A division of F&P America Mfg. Inc



**F&P Georgia
初受賞**

◆Nissan North America様より受賞

デリバリーへの取り組み

コロナ禍での客先納入に対する感謝状

F.TECH PHILIPPINES, MFG.,INC.

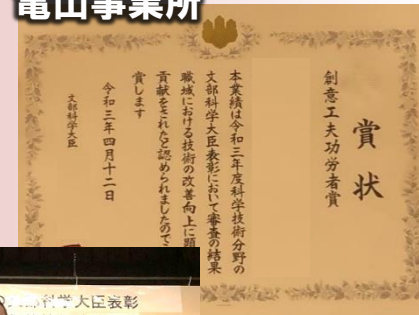


◆Toyota Motor Philippines Corporation様より受賞

生産技術への取り組み

創意工夫功労者賞 受賞

エフテック 亀山事業所



4年連続の受賞

◆文部科学大臣表彰

※2021年度上期(4～9月)受賞実績

エフテックの社会貢献



※2019年開催時

森林づくりに向け埼玉県と契約締結
第三協定期間
(2020～2024年)



芳賀町
工業団地クリーン作戦
2021年上期 2度実施



亀山市 敷地外清掃活動



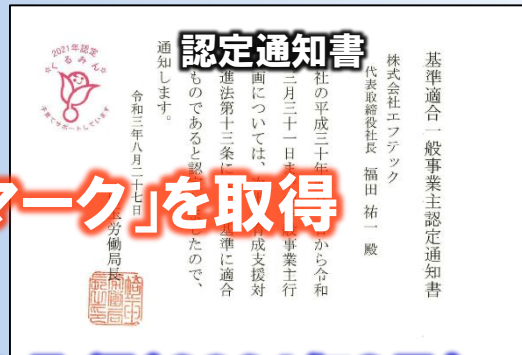
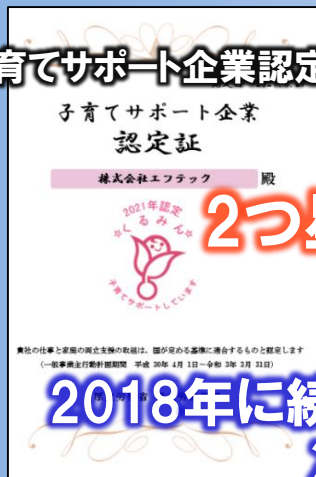
亀山市 アダプトプログラム

社会貢献活動へ積極的に取り組み、地域社会との繋がりを強化

仕事と育児の両立支援

厚生労働大臣認定 **くるみん(3年更新)**

子育てサポート企業認定証



2つ星の「くるみんマーク」を取得

2018年に続き、2度目の認定・取得(2021年8月)
次回は2024年に申請予定

仕事と育児の両立支援を推進し、
社員一人ひとりが活躍できる環境を整備



ご清聴ありがとうございました



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

株式会社エフテック 管理本部 総務部/経理部

代表TEL 0480-85-5211

Mail webmaster@ftech.co.jp

Appendix

Appendix ~連結貸借対照表(2022年3月期末予想)~



2022年3月期 期末決算説明資料

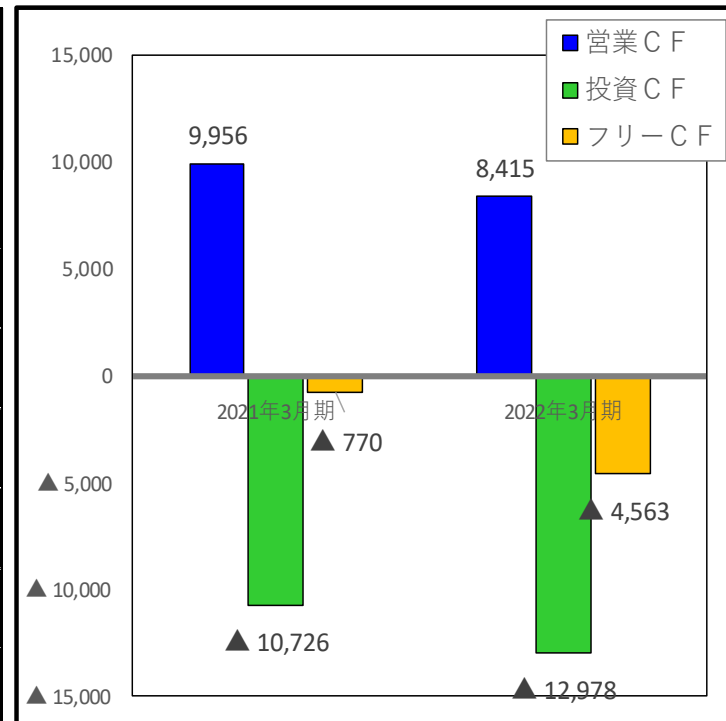
	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減
現金及び預金	3,709	6,019	2,310
受取手形・売掛金	31,578	26,424	▲ 5,154
棚卸資産	19,642	18,603	▲ 1,039
その他	2,744	3,317	572
流動資産	57,673	54,363	▲ 3,310
有形固定資産	70,013	75,952	5,940
無形固定資産	320	290	▲ 31
投資その他資産	8,709	8,712	3
固定資産	79,041	84,954	5,912
総資産	136,715	139,317	2,602


有利子負債残高	49,563	57,400	7,837
有利子負債依存度	36.3%	41.2%	4.9%

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減
支払手形・買掛金	19,772	15,252	▲ 4,520
短期借入金	20,872	20,619	▲ 254
1年以内長期借入金	9,884	10,000	116
その他	8,873	8,988	116
流動負債	59,402	54,859	▲ 4,542
長期借入金	16,944	24,608	7,665
その他	5,337	5,561	224
固定負債	22,281	30,169	7,889
負債合計	81,683	85,029	3,346
株主資本合計	40,019	38,959	▲ 1,061
その他包括利益累計	286	305	19
非支配株主持分	14,727	15,025	298
純資産合計	55,032	54,288	▲ 744
負債純資産合計	136,715	139,317	2,602

2022年3月期 期末決算説明資料

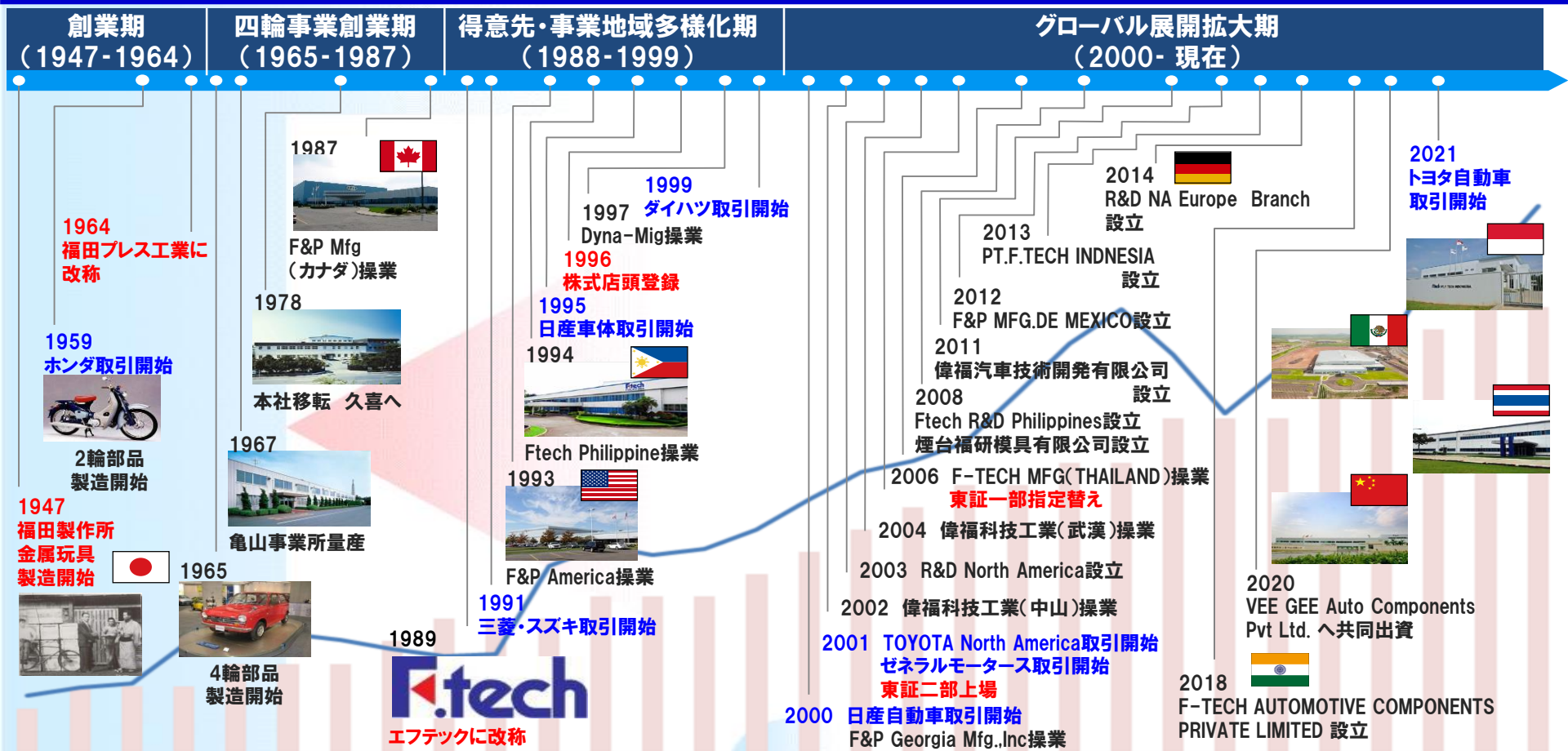
	2021年3月期	2022年3月期	増減
	実績	予想	
営業活動キャッシュフロー	9,956	8,415	▲ 1,542
投資活動キャッシュフロー	▲ 10,726	▲ 12,978	▲ 2,251
財務活動キャッシュフロー	▲ 4,363	6,805	11,168
現金及び現金同等物に係わる為替差額	▲ 37	69	106
現金及び現金同等物の増減額	▲ 5,171	2,310	7,481
現金及び現金同等物の期首残高	8,880	3,709	▲ 5,171
現金及び現金同等物の期末残高	3,709	6,019	2,310



会社名	株式会社エフテック	
市場区分	東証一部(7212)	
資本金	67.9億円	
代表者名	代表取締役社長 福田祐一	
売上高(連結)	1,836億円(2021年3月期)	
従業員数(連結)	9,400人(単体:962人) ※単体:国内エフテックのみ(子会社、海外駐在員含まず)	
設立年月日	1947年7月1日	
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地	
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、 日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、etc.	
主要製品	自動車向け足廻りサスペンションアーム、 サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等	

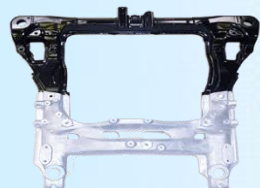
2021年3月末現在

Appendix ~沿革~

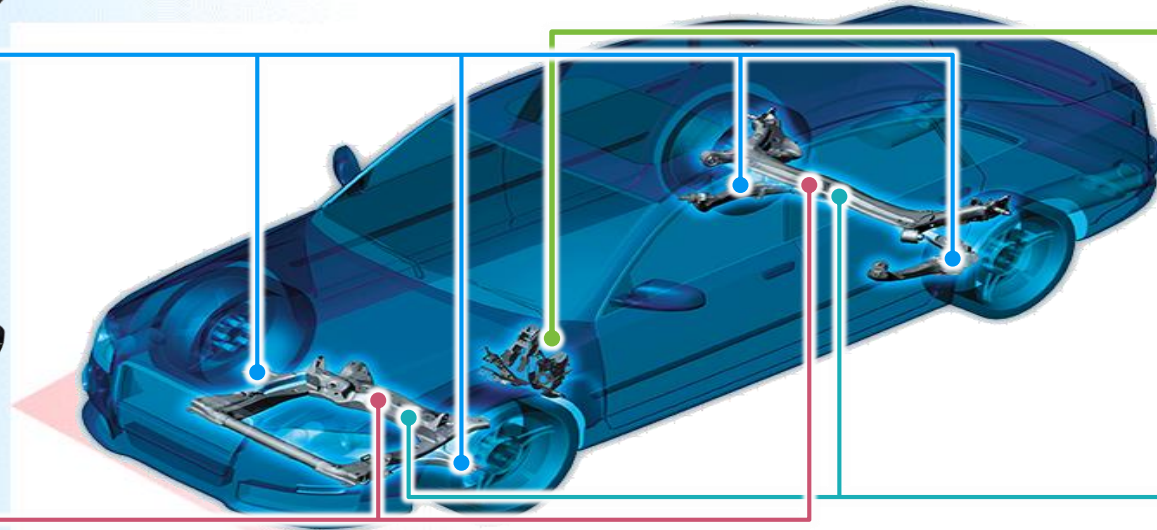




サスペンション
部品



マウント部品



コントロール部品



当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、衝突時の安全性を考慮した最適仕様を目指しています。

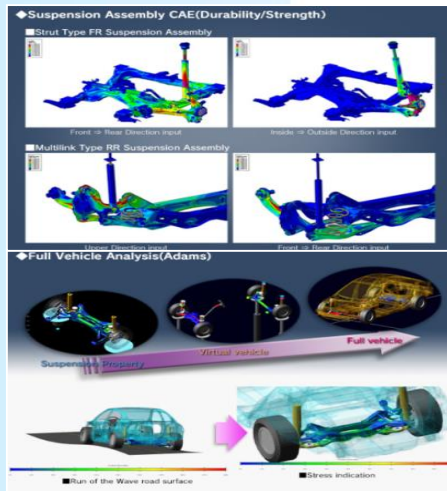
製品開発

塑性成形

接合

塗装

組立



製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供しています。

●【国内事業所】

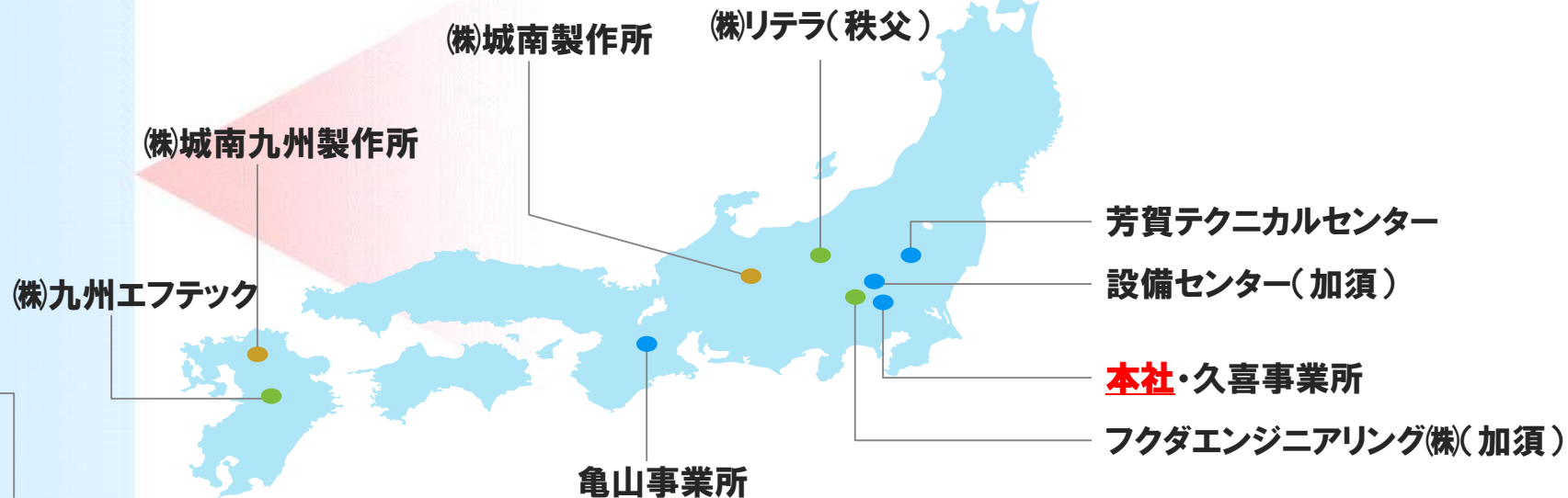
本社・久喜事業所
亀山事業所
芳賀テクニカルセンター
設備センター

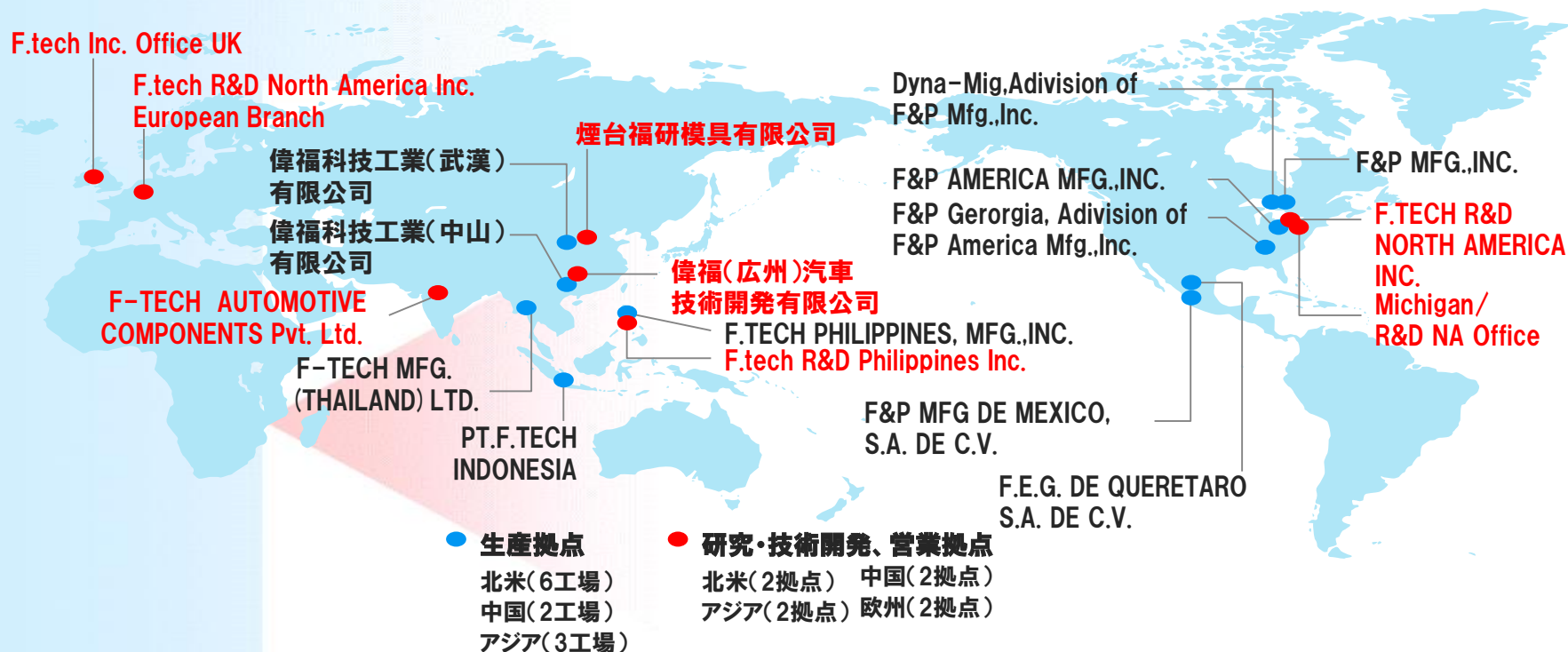
●【国内グループ会社】

フクダエンジニアリング(株)
(株)九州エフテック
(株)リテラ

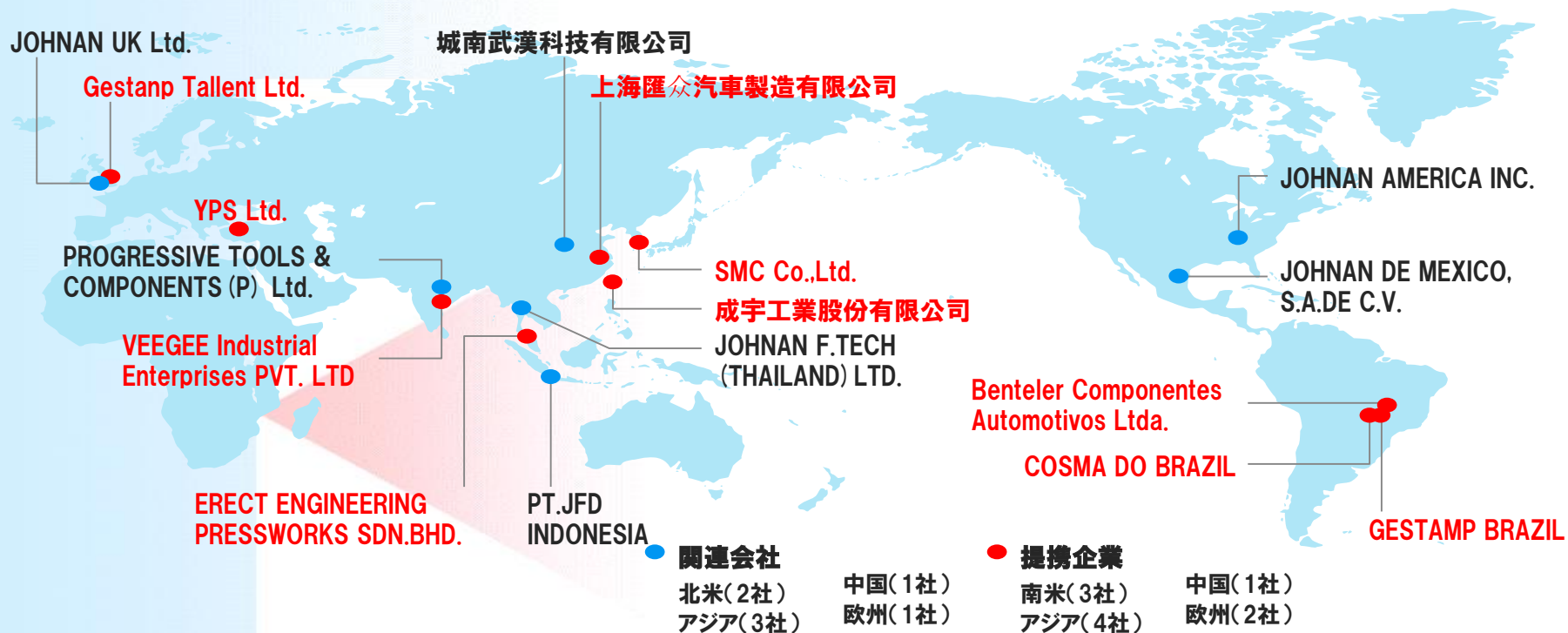
●【国内関連会社】

(株)城南製作所
(株)城南九州製作所






世界10カ国11生産拠点、8研究・技術開発拠点を有しています。



7か国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築

会社名称	VEEGEE INDUSTRIAL ENTERPRISES Pvt. Ltd.	
設立	1990年	
従業員	約1400名	
主要製品	各種プレス加工、サブアセンブル、チューブ/パイプ溶接など	
主要顧客	ホンダ、スズキ、GM、TATA、オートリブ、シュナイダーなど	
事業内容	自動車部品(ボディ部品、ペダル部品、シャーシ部品)の製造・販売	

会社名称	VEE GEE Auto Components Private Limited	
出資額	342,940,000 INR(インドルピー)(約488百万円※) ※1INR=1.4229 2020年9月24日時点の為替レート)にて換算	
出資比率	VEE GEE INDUSTRIAL ENTERPRISES PVT.LTD. 74% 株式会社エフテック 26%	
主な客先	スズキ・モーター・グジャラート社 (SMG)	